

## 《インターネット上で悪ふざけをすることのリスク》

北海道教育委員会

ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

### 異物混入の発信

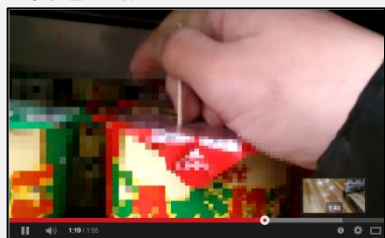
昨年末から様々な食品への異物混入が話題になっています。発端とされているのは、虫が混入していた即席カップめんを発見者がTwitter上に投稿して匿名掲示板サイトなどでも大きく取り上げられ、2日足らずで1万3千以上のリツイートをカウントしました。その後、これを追従するように様々な食品への異物混入がインターネット上で報告されています。

異物混入を発見した報告だけではなく、中には「店の商品にいたずらしてみた」というタイトルで実際に異物混入を行っているように見える動画を公開していたものもあり、この動画は100万回以上も視聴されるなど、大きな反響を呼びました。

《発端とされる投稿》



《問題の動画》



異物混入を行っているような動画を公開した19歳の少年は、その他にも「超余裕万引きしてみた」「万引き講座」というタイトルの悪質な動画を複数公開しており、1月中旬に指名手配の後、建造物侵入の疑いで逮捕されています。指名手配後も逮捕される前の間に「全力逃走中」というタイトルの動画を複数公開しており、注目されたいがために、動画の公開に没入していたことがわかります。

### 悪ふざけの発信リスク

ネット上で反響の大きい話題に便乗して、児童生徒が悪ふざけで異物混入などを投稿のネタにしてしまうケースがあります。

注意しなくてはいけないことは、投稿している本人は冗談のつもりでも、インターネット上に載せた情報は、本人の意図とは異なる、予期しない伝えられ方で広がってしまうことがあるということです。そして、それが一度広がってしまうと、本人の将来に重大な影響を与えることがあります。異物混入を思わせる投稿は業務妨害罪等に問われる可能性もあります。

《悪ふざけの例》



※例は当資料のために作成したものです。

### 指導の要点

平成25年10月更新分の資料「Twitter等での不適切な投稿による被害について」で紹介した炎上事例と同様に、インターネット上での悪ふざけが、自分の人生を台無しにしてしまうことがあるということをきちんと児童生徒に理解させる必要があります。改めて次の「インターネットの4つの常識」を指導しましょう。

1. インターネット上への書き込みは、取り消すことができない
2. インターネットは、全世界に公開されている
3. インターネットは、匿名ではない
4. 自分の将来に影響を与えかねない